



Address : Osaka YMCA, 1-5-6 Tosabori Nishiku Osaka 550-0001 Japan
Phone : (06)6441-0893

12
2012

主題 (2012/2013)		
国際会長	Be the light of the world 「世を照らす光となろう」	Share your blessings in love 「恵みを愛もて分かち合おう」
アジア会長	Years bring wisdom 「歳月はY'Sをワイズ(賢者)にする」	Action vitalize life with strength 「行動が活力を呼び覚ます」
西日本区理事	Let Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community in the world 「先頭立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
中西部長	Let's nurture Y's dynamic spirit! 「ワイズの活力を育てよう」	
大阪クラブ会長	Let's spread the Y's spirit 「広げよう ワイズメンのこころ意気」	

会長	北村 知三
直前会長	牟 大盛
副会長	清水 汎
	脇本 博
	森嶋 弘明
	豊島 正利
書記	牟尾 大盛
会計	松原 信孝
プリン	松原 伸幸
連絡主事	田尻 忠邦

【今月の聖句】

「身を起こして、頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。」

新約聖書 ルカによる福音書 21章28節

【12月クリスマス例会プログラム】(EMC - M 強調月間)

(大阪クラブ・茨木クラブ合同例会)

と き : 2012年12月11日(火) 18:30 ~ 21:00

と ころ : 大阪キャッスルホテル(大阪天満橋) (地図参照)

会 費 : メン・ビジター・メネット 6,000円

HHOBOG・コメント 2,000円

1. 開会挨拶と開会点鐘 北村 知三会長(大阪クラブ)
ワイズソング・ゲスト紹介
2. 第1部 クリスマス礼拝
聖書朗読 藤井 英世(茨木クラブ)
マタイによる福音書 1章21-23節
「東北アジアの平和の祈り」 田尻 忠邦(大阪クラブ)
3. 会長報告 北村 知三会長(大阪クラブ)
お誕生日・結婚式記念日のお祝い 両クラブ会長
4. 入会式 司式 江見淑子 中西部会長
(大阪クラブ) 村井 達司さん(紹介者・脇本メン)
能勢 嘉則さん(紹介者・牟メン)
(茨木クラブ) 津川 衛さん(紹介者・塚メン)
5. 第2部 クリスマス祝会とクリスマスミニコンサート
「日々の糧」斉唱
乾杯 石橋 ルキ(大阪クラブ)
クリスマスミニコンサート



於11月例会の石橋メン



於とさぼりカーニバルの森嶋メン

- あしたに贈る愛の歌

ソプラノ：岡田由美子さん、ピアノ 南木優子さん

主な曲：この道、カッチーニのA V E M A R I A

Time to say Good-bye,花は咲く（東日本応援ソング）

坂の上の雲より Stand Alone

一緒に：きよしこの夜、冬の夜他、クリスマスアラカルト

晚餐と懇談

7. 第3部 オークション他 司会 山崎 憲（茨木クラブ）

脇本 博（大阪クラブ）

（オークションへの提供品をご持参ください。希望価格をお付けください。）

クリスマス献金（ニコニコ アワー）

Y M C A ニュース・インフォメーション 浜野昌保連絡主事（茨木クラブ）

賛美歌 109番（きよしこの夜）

8. 閉会挨拶と閉会点鐘 岡村 千蔭会長（茨木クラブ）

受 付：清水、牟、崔メネット（大阪クラブ）

【第2例会のご案内】

とき：2012年12月18日（火）19：00～20：30

ところ：大阪土佐堀Y M C A 6階 601室（変更になることがありますので、ご注意ください。）

今月のお誕生日：森嶋弘明（17）

メネットさんお誕生日：該当者なし

結婚記念日：松原伸幸（24）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

冷たい風が、冬の訪れを告げる季節となりました。今月はイエス・キリストの誕生を喜び、祝うクリスマスの季節です。それぞれ自分自身を見つめ直しつつ、心静かに喜びと感謝の気持ちをもって、クリスマスを迎えたいと思います。

今年は、12月1日（日）から4週間をイエス・キリストの誕生を待つアドベント（待降節）として守ります。アドベントとは「到来」という意味で、内容的には「イエス・キリストが来られる」ことですが、そこから「待ち望む」という意味も含みます。人は、その年代、年代で、つぎの何かを待って生きています。

イエス・キリストの誕生は、そのようなすべての年代にふさわしく、国境を越え、全世界でも今も真実、優しさ、失意の人への慰め主として待たれます。

【出演者のプロフィール】

ソプラノ 岡田由美子さん

大阪芸術大学演奏学科卒業。日伊音楽コンクール入選。日本演奏家連盟優賞受賞。日本歌曲コンクール第3位。パッサ等宗教曲の独唱者としてドイツ等国内外で活躍。数回のリサイタル、唐招提寺「金堂落慶法要」等奉納演奏。平城遷都1300年祭に多数出演。東日本大震災コンサート、宮城県多賀城市政40周年にて復興コンサート。奈良市主催「復興の灯」平城宮跡にて鎮魂コンサート。明治大学マンドリン

倶楽部、大阪市音楽団やオーケストラ、邦楽との共演も多く、司会者としても多彩に活動。盲導犬チャリティコンサート、ホスピス、老人施設にて演奏。大宰府、鳥取等、万葉集を通じ、奈良の文化交流に尽力。常田富士男氏などと共演。星野富弘花の時画展 I N 奈良テーマ曲演奏ならドットFM「ふれあいコンサート」放送。奈良市から福祉功労者感謝状を授与。奈良県社会福祉協議会会長賞を受賞。元高崎芸術短大、元東大寺学園講師。奈良日独協会理事、(社)日本歌曲振興会、奈良県音楽芸術協会、日本リードオルガン協会各会員。合唱団指導者。生涯学習講師。

ピアノ 南木 優子さん

大阪音楽大学ピアノ専攻卒業。名畑ゆかり、山下泰夫の諸氏に師事。在学中、エリアーヌ・リショパン氏による公開レッスンを受講。ピアノ曲のみならず、オーケストラ曲等の編曲による演奏を得意とし、そのユニークな活動は1993年の雑誌「ショパン」の(新鋭ピアニスト)のコーナーでも、紹介される。同年芦屋にてデユオリサイタル、1995年大阪にて「世界のワインと音楽の会」を開催。お客様のリクエストによる、プログラムとブラームスのピアノ五重奏といった新しいコンサート形式を打ち出し、現在は音楽企画集団「音登夢」、タンゴアンサンブル[スールース]のピアニストとして活動中。編曲、即興演奏にも定評がある。

【村井 達司さんのプロフィールと紹介】

脇本 博

この度、我が大阪ワイズメンズクラブに入会して下さった村井さんとは小生と小学校、中学校、高校を通じてのおつきあいです。小生は3年ほど前から高校時代の仲良しグループと偶数月に会合を持ち、楽しくおつきあいをさせていただいております。納涼例会やクリスマス祝会にいつもご夫婦で参加して下さっている宮野さんも同じく高校時代の仲間です。仲間内で大阪ワイズの奉仕事業について小生が話をしているうちに村井さんは大変興味を持ってくれまして、今年の6月例会から私たちの例会に参加してくれています。9月例会で入会できる資格があるのに、12月まで待たせて申し訳なく感じています。茨木クラブさんと合同で、また中西部長も参加して下さるかも知れない盛大なクリスマス祝会で旧友の入会を迎えたい私の気持ちをご理解くださればありがたいと思います。

村井さんは社会奉仕事業の精神を大変よく理解されています。今後の大阪クラブのHH(Hard of hearing)青少年教育支援事業の発展に大きく貢献して下さる人物と確信しております。

現在お仕事は(株)日本モーターパーツの代表取締役会長を務められ、世界をまたに仕事をされ、邁進されている多忙な方です。人脈も広くまたリーダーシップもあり素晴らしい友人がワイズを理解してくれたと感じてわたしも嬉しく思っています。

私自身も村井さんの入会を機にワイズメンド運動に対して新たなファイトが湧いてきました。私同様どうぞよろしく願い申し上げます。

【能勢 嘉則さんのプロフィールと紹介】

牟 大盛

名前：能勢嘉則(のせ よしのり) 生年月日：1954年2月27日

奥様と一男一女のご家族です。現在、メットライフアリコ生命保険会社(旧 アリコジャパンに1979年4月入社)中之島オフィス マネージャー。趣味は、ハーレーダビットソンをこよなく愛するライダーです。元大阪ハーレークラブでは“ハーレーの王”として一世を風靡した有名人です。また、社会奉仕のため3年以上も“手話講習”を受講されまして、何か奉仕の機会を探っていたとの事です。

私とは、15年以上の公私にわたるお付き合いですが、大柄な体格とは対象的な優しさと、ジェントルマンとしては超一級のお一人柄です。今後の、大阪クラブの聴覚障がい(HH)支援事業におおいなる戦力になると確信しています。

【11月出席状況】

11月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニコ
	正会員	15	11		2	1	2	73.3%	12,800円
	功労広義会員	2							
	合計	17	11		2	1	2		

11月例会の出席者

メネット：北村信子会長・脇本真知子メネット

ビジター：今井利子さん（なかのしまクラブ）、川本かおるさん（大阪YMCA）

ゲスト：村井達司さん（脇本博メンゴ友人）

BF 新切手 1,600円（清水 汎メン） 累計 11,200円
 リーストコイン 114円（清水 汎メン） 累計 1,923円

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2012年11月13日(火) 19:00～21:00

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：北村知三会長、石橋ルキ、脇本博・松原伸幸・尾和信孝・牟大盛メン、崔メネット
 協議事項

1) 12月合同例会：(EMC-M強調月間)茨木クラブ合同例会

一部：クリスマス例会

入会式（村井達司氏・能勢嘉則氏）

聖書朗読：マタイ1章21-23節

「東北アジアの平和の祈り」

二部：クリスマス音楽講演

日々の糧・食事会

三部：チャリティーオークション（クリスマス献金）

司会：尾和信孝メン 受付：清水汎・牟メン・崔メネット

会費@¥6000、(HHBOG・コメント @¥2000) ニコニコ献金は人数割り

出演者2名とセンテニアルクラブの新保メンを招待する。

別途プログラムにて詳細を確認した。

2) IBCについて：パサデナクラブへの孫メットホームステイ中止の件

来年のホームステイは、大阪クラブの受け入れの方向で確認した。

3) HH支援事業の件

2013年HH国内キャンプについて、アピールを兼ねて明日11月21日に北村会長・田尻連絡主事・牟大盛メン、西村・高土OBOGと2名のキャンパーがHH国際キャンプ報告のため、京都プリンスクラブの例会に参加する。

4) 中西部・クラブ行事

2013年1月15日(第3火)19:00～

場所「徐園」：クラブ新年会兼第二例会 会費@¥4000

第二例会は、18：30分から30分間徐園にて実施する。

2013年1月19日(第3土) 中西部新年会

場所「KKRホテル大阪」11：30から14：30、登録費 8千円

東北大震災復興支援プロジェクト：2013年2月23日(土)「いきいきエイジングセンター」で各クラブで販売ブースを設けて、震災支援事業をする。

；大阪クラブも1ブースを持って、「焼きそば」販売の件

5) プリテン編集について：松原プリテン委員長より、編集方針の発表があった。

6) その他：

次期クラブ会長の件：次期会長と次々期中西部長と合わせて継続協議する。

2013年 2月センテニアルクラブ 藤原正巳メン、

3月 村井・能勢メン：自己紹介の時間とする。

2014年11月の大阪クラブ85周年事業について：

創立75周年では、勉強会を開き、過去・現在・未来の歴史の共有をした。

来年も内部から講師を選び、シンポジウム形式とする旨意見が集約した。

また、聴覚障ガイ(HH)支援基金の残金が目減りしており、同FUNDの積み増しを主な目標とする旨合意した。

「こころのケアを考える」西日本区メネット事業部主催

12月8日(土)13：30-17：30 場所：大阪YMCA 902号室、

【11月例会報告】

尾和 信孝

午後激しい雷雨があり心配しましたが、ゲストの村井さんはじめ出席予定者全員がそろい例会が始まった。会長報告では、今年のパサデナクラブへの派遣はスケジュールの都合で中止になった。期近に行われた、大阪YMCA創立130周年記念会、土佐堀カーニバル等の話があった。カーニバルでは、大阪クラブ得意の焼きソバの売り上げで41,507円の献金ができたと報告がありました。毎回、協力されている森嶋メンに出席者全員の拍手で感謝の気持ちを伝えました。

晚餐では、今期から1,000円のお弁当を頂いていますが、毎回工夫をこらした内容で大変おいしくいただいています。

スピーチは、7月に豊中から転会された石橋メンです。大変詳しく、丁寧に話されたので、頭も、手も動きが鈍くなっている私では、お話についていくことが出来ず、走り書きのメモからいくつか拾ってみました。ワイズで最も大切なものは例会であり、「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る。」というのが理想的な例会のありかたである。クラブ-部 区 で構成されており、それぞれで例会、部会、区大会が開催され、出席して交流を深めてください。また海外では、アジア大会、世界大会が一年ごとに開かれ異国のワイズとの交流も一興である。聴覚障害活動は、宇野メンが豊中クラブに入られてから20年間頑張ってきたが、今は大阪クラブで見事に引き継がれている。ここまでのお話は、我々ワイズへのオリエンテーションのようなお話でした。

父上がYMCA運動に熱心であったが、豊中ワイズ創立時、仕事の都合で入会を断られたが、その身代わりとして、45歳でワイズデビュー、以来、区大会へは34回出席、全国各地を巡ってきた。後半は職歴や、現在にいたるお話で、入社は大阪の広告会社。ラジオ・テレビ部、CM制作部、事業開発部、九州転勤 そして神戸に戻りとその活躍は日本の右肩上がり、バブル時代とかさなって、大いに貢献された。CM制作部時代には、大金を出せない中小企業のためCMソングの作詞作曲もされた。有名作家は一曲約200万円で

あったが、3万円ぐらいで作ったため家計の足しにはならなかった。4歳から母上の影響で音楽に親しみ、主にピアノやパイプオルガンを楽しんだ。中学生の時、作曲の本を読み、全部理解できた。当時は作曲のインスピレーションはいつでも、いくらでも湧いてきた。氏が作られたCMソングがいくつか紹介されたが、洗濯屋のCMソング「ボクはアヒルの洗濯屋」が流れていたのを覚えています。ワイズ歴が永い石橋メンですが、同氏の生い立ち、人となりを知る機会となりました。我々のクラブでも、今まで同様、ご奉仕お願いいたします。

今月の例会は、脇本メンの好リードで見事に定刻に終わりました。

【2012とさぼりカーニバル参加報告】

会長 北村 知三

11月3日(土、祝)カーニバルの実行委員は土佐堀会館に8時集合。当日の最終打ち合わせをする。大阪クラブは、午前中は8階2教室の衛生安全管理担当、午後は会館入口の受付担当となる。我がクラブは今年もまた例年通り焼きそばブースを開店するが、昨年まで10階だけに集中していた出店販売が1店も出来なくなり、今年は4階と8階の教室に分散して販売飲食することとなった。ここ数年カーニバルの日には、食堂化したチャペルホールが大混雑することと、後片付けのときにごみや食事で汚れたホールを元のきれいな状態に戻すために、非常に時間と手間がかかるからである。ただ焼きそばだけはプロパンガスを使うので10階の屋外スペースで調理をして、調理した焼きそばを8階まで持って降り販売することとなった。田尻さんと2人で焼きそば調理台の設営と、8階の教室で展示用に机椅子の配置をする。ほどなく次々と西村さんや高土さん、HHユースの若者や家族15名ほどの方々が来て、香港でのHHキャンプを撮影したDVD映写とパネル写真展の準備をする。10階には森島夫妻と社員の方が来て焼きそば調理の仕度も出来上がる。

カーニバルの開会の11時になるや、8階の飲食販売店ではいっせいに売り場の呼び込みが始まった。特に奥の他クラブの盛んな呼び込みに、はじめの内ほとんどの客が焼きそば売り場を素通りして奥の方に流れていたが、12時を過ぎると急に焼きそば店にも長い列が出来ようになった。それからは森島さんがメネットさんとともに10階と8階を何度も往復、HHキャンプボランティアも出来上がった焼きそばの持ち運びや盛り付けで目が回るほどとなった。結局そのままの忙しさで2時過ぎ終了となった。おかげでほぼ前年に近い6万円あまりの売り上げ、献金額も4万円ほどにもなった。

一方、国際HHキャンプ報告展示を観に来る人が極端に少なかった。展示室前においた焼きそば販売テーブルや、手前の2つの教室を食事場にしたせいで、奥にあって目立たない展示室となってしまった。また焼きそば販売に気をとられ、展示を見に来てもらうアピールの余裕がなかったことが理由である。折角HHキャンプリーダーの皆さんが準備会などで打ち合わせし、当日も多数のボランティアが丁寧に展示作成をしていたのに、観に来る人がとても少なかったことを残念に思う。しかしキャンプリーダーのみなさんの熱意は、今後きっと実になる機会があると信じています。

会館入場受付の最後は大阪クラブ担当で、メネットと二人で入場料の締めくくりをしました。ともあれ、この日全館入場者1、100名近く、50万円ほどのクリスマス献金の実現したとのこと。

当日参加の、森島さんご夫妻をはじめ、石橋さん、條さん、田尻さん、事前の実行委員会から来ていただいた手話通訳の伊田さん、そして西村さん、高土さんや去年の国内HHキャンプ参加者にも大いなる感謝です。この日は来られなかったが委員会に2度ほど来ていただいた、手話通訳の万並さんにもお礼を申し上げます。絶好のカーニバル日和にも感謝です。忙しかったが楽しめた奉仕の一日でした。

【焼ソバ屋台会計報告】

田尻 忠邦

土佐堀カーニバルでの大阪ワイズメンズクラブとHHキャンプOB・OGの協働で行った焼ソバ屋台の会計報告は以下の通りです。

収 入：300円×228食=68,400円
支 出：食 材：23,000円
備 品：1,643円（絵の具その他）
入場料：2,250円
支出合計：26,893円
収支差：41,507円（土佐堀YMCAクリスマス献金へ）

特に今年は、直接販売ができず、調理が10階で販売が8階と場所が分かれてしまったため、お客さんのピーク時に調理が間に合わなくて好機を逃してしまい、目標の250食完売は達成できませんでした。しかしながらHHキャンプOB・OGの参加が過去最高の17名であったのは、とても嬉しいことでした。

【センテニアルクラブチャーター30周年例会】 石橋 ルキ

去る11月17日（土）午後、ホテルグランヴィア大阪で、大阪センテニアルチャーター30周年記念例会が行われた。1982年大阪YMCA100周年を機に、大阪ワイズメンズクラブでは、新しいクラブチャーターの機運がたかまった。そして大阪ワイズの元国際会長、鈴木謙介ワイズが中心にメンバー集めを始めて、1982年7月20日に大阪センテニアル（100周年）ワイズメンズクラブが誕生した。私もチャーター後初期のこのクラブには鈴木謙介氏に惹かれて、たびたびお邪魔をした。

六甲YMCAのキャンプ地を寄贈されたのが当時の大丸社長、大阪YMCA理事長の里見淳吉氏であった伝統を受け継ぎ、大丸副社長の鈴木氏を筆頭に大丸関係者がメンバーに多かった。

このクラブには鈴木氏をはじめ英語の堪能な谷川寛氏、藤原正巳氏などがおられ、ハワイ、香港のワイズとの交流、沖縄、韓国のアメラジアンへの支援など、国際的交流事業を得意とされるクラブである。

当日の卓話者、元外交官の天江喜七郎のお話もご自分のキャリアから国際的な話題を提供された。簡単に内容を紹介すると、赴任国順に1)1979年のイランのホメイニー革命。2)1991年12月25日の、ソ連邦がわずか67年で崩壊した、ロシア革命。3)次に大使となりウクライナに赴任したが、ここでもオレンジ革命が起こった。私の見た3つの革命はいずれも市民、国民の不満の爆発であり、それをどう吸収するかが政治の勘所となる。

第2部懇親会では、カントリーウエスタンバンド“BACKWOOD MOUNTANEERS”が大活躍。ウエスタンの名曲を軽快に歌う。卓話者天江氏も飛び入りで、英語の歌詞の歌を上手に歌う。さすが、大使！

懇親会に移る前に15分の休憩があったが、この時間に、現会員卒業のセンテニアルクラブのチャーターメンバーの懐かしい方々と、回顧談を語ることが出来て、よかった。

【京都プリンスクラブ例会参加報告】 HHキャンプ報告会 牟 大盛

11月21日 京都プリンスクラブ例会に、大阪クラブから北村会長はじめ田尻連絡主事、牟書記、「HHキャンプリダー会」の西村会長・高土副会長、手話通訳士の伊田洋子さん、キャンパーの堤さんの7名で、今年の夏に実施された香港・マカオでのHH（聴覚障ガイ）支援国際キャンプの報告のため訪問しました。

大阪からの三々五々でのグランドプリンスホテル京都への集合のため、19時開催から少し遅れての全員集合となりました。

小野敏明会長の開会点鐘、ワイズソングのあと「70年代から長期間にわたり16歳以上から35歳までを対象とした聴覚障ガイ（HH）支援事業が続いた事は、大変尊敬すべことであり京都プリンスクラブCS事業の小学生対象のマイ・マイ支援事業と関連することでもあり、大阪クラブとHHキャンプリダーとキ

ャンパーの体験談を聞く機会に感謝します。」との意義深い会長挨拶がありました。食前感謝のあと、国際会議場に隣接するグランドプリンスホテルのご自慢の和食を楽しみ、楽しい会話と共に、おいしくいただきました。

続いて、20時から40分間の大阪クラブのHHキャンプ報告会です。

まず、田尻連絡主事からプロジェクターを使っの、HH国際キャンプの歴史と去年の国内キャンプの紹介、そして未来の展望について説明が詳しくありました。特に、今年10月には「HHキャンプリーター会」の発足をもって、今後京都プリンスでも「HHキャンプリーター」としてのご奉仕も可能になったことの報告も合わせてありました。

また、北村会長からは、大阪クラブのHH国際キャンプと昨年から開始した国内HHキャンプの意義と今後の京都プリンスクラブとの、「DBC」の可能性についても言及されるなど「マイマイ支援」と「HHキャンプ」支援クラブ同士の今後の密接な交流の可能性と期待を大いに語られました。

ついでに、牟書記からも、聴覚障ガいの学生は、実はノーマライゼーションの名の下に大変不自由な学生生活を強いられており、そこから一人でも救うことができる手立てのひとつがHHキャンプであることを強調しました。

また、堤キャンパーからは、今年の国際キャンプでの感想と、外国の友人の広がりについて語っていただきました。また、「HHキャンプリーター会」の西村会長と高土副会長からも、一人でも多くの手助けと共に、リーダー養成の希望について熱く語られました。

全て、最初から終わりまで、伊田洋子さんに手話通訳をしていただきました。大変感謝しますと同時にご苦労様でした。

【京都プリンスクラブ例会参加報告】 後記 田尻 忠邦

11月21日の京都プリンスワイズメンズクラブ訪問後、小野敏明会長をはじめとする名刺交換をさせていただいたメンのみなさまにお礼のメールを送信しましたところ、小野会長より以下のような返信をいただきました。

大阪ワイズメンズクラブ 連絡主事 田尻忠邦様

11月第二例会では此方こそ大変お世話になりました。わかり易い報告を頂き、HHキャンプの素晴らしさをメンバー一同、理解した次第です。今後は今期三役が主導し、具体的な協力体制確保にむけて議論を重ねてゆきたいと考えています。できれば、来期の六甲キャンプに何かしらの協力できればよいのですが……。部を超えた事業協力ができれば、より大きなエネルギーが生まれるのではないかと考えます。

以上、今後ともよろしくお願ひします。

京都プリンスワイズメンズクラブ会長 小野 敏明

【第2回HHキャンプリーター会記録】 HHキャンプリーター会書記 勝矢 千晶

日時：2012年11月15日（木）午後18時30分～20時45分

場所：大阪YMCA6階601号室

出席者：西村（智）、高土、小山、勝矢

欠席者：桜木、吉田

【内容】それぞれの意見を元に、役員規定を作成。

役員規定

聴覚障がい青少年国際キャンプリーター会とは

聴覚障がい青少年国際キャンプ（以下「HH国際キャンプ」）は1975年、大阪YMCAがクリスマス献金プロジ

エクトの一環として香港 YMCA の協力のもとで、開始し今年で 37 年目を迎えました。

2 年に 1 回アジアを中心とする世界の国・地域から聴覚に障がいをもつ青少年が集い、国や文化の違いを越えて積極的に交流を広げています。本会は、主として HH 国際キャンプ参加経験者によって構成される。

会則について

(名称)

第 1 条 本会は『大阪 YMCA 聴覚障がい青少年国際キャンプリーダー会』と称する。

(以下略称として「HH キャンプリーダー会」を用いる)

(目的)

本会は次のことを目的とする。

- (1) 普通校に通っている聴覚障がいの生徒・学生を掘り起こし、同じ障がいを持つ生徒・学生に交流の場を提供する。
- (2) キャンプ参加者と交流し、リーダー育成を行う。
- (3) 聴覚に障がいを持つ青少年が抱える諸問題について共に考え、地域社会に情報発信していく。

(会員)

第 2 条 本会は次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員：HH キャンプに参加したことがある者。
- (2) 賛助会員：本会の趣旨に賛同する会員以外の者。

(会員の義務)

第 3 条 第 2 条に定める会員は次の義務を負う。

- (1) 定められた会費を納入すること。
- (2) 本会の総意に反する行為を行わないこと。

(機関)

第 4 条 本会は次の機関をおく。

- (1) 総会
- (2) 臨時総会

(総会)

第 5 条 総会は本会の最高議決機関であり、年 1 回会長が招集する。ただし必要に応じて臨時総会を開くことができる。

総会は次の事項を審議する。

- (1) 会則の制定、改廃に関する事。
- (2) 予算の議決、決算の承認に関する事。
- (3) その他本会の運営に関する重要な議案事項。

(総会の定足数)

第 6 条 総会は会員の 1/3 の出席を以て成立する。

(委任において、メール可とする。)

(総会の決議)

第 7 条 総会の議決は、出席全員(委任を含む)の 1/3 を以て、成立とする。

可否同数の場合は、会長がこれを決する。

(役員任期)

1. 本会役員任期は 1 年とする。

但し、再任は防げない。

2. 補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役職)

第8条 本会は次の役職をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 事務局長 1名並びに事務局補佐 1名
- (4) 会計長 1名並びに会計補佐を 1名

(顧問)

第10条 本会は顧問をおくことができる。

(役員職務)

- 第11条
1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長が欠けたときまたは会長に事故ある時は、あらかじめ会長の指名した順序に従って、その職務を代行する。
 3. 事務局長、事務補佐は書記・広報等の常務を分担する。
 4. 会計長、会計補佐は会計の常務を分担する。

(会費)

第12条 会員は会費を年額 1,200円を納入するものとする。

(会計)

第13条 本会の経費は会費、助成金等の収入をもって充てる。

第14条 本会の会計年度は、毎年10月1日から始まり、翌年9月30日に終わる。

(附則)

1. この会則の改正は会員の1/3以上(委任含む)の参加のある集会において、参加者の1/3の賛成を得て行うものとする。
2. この会則は、平成24年10月1日より施行する。

平成24年11月15日

HHキャンプリーダー会

<連絡事項>

次回の【第3回HHキャンプリーダー会】の日程は未定。

会長が各自のスケジュールを確認したうえで、決定する。

【アジアに吹く風】

大阪YMCA総主事 末岡 祥弘

金木犀の香る風が吹くこの時期になると10年ばかり前の香港を思い起こす。

香港の11月は日本の初秋であり、心地よい秋風の中で「グローバルが意味する多様性のしんどさと必要性和喜び」を感じた30日間である。

アジアの各地(インド、バングラディシュ、タイ、フィリピン、シンガポール、台北、香港、上海、マニラ、日本)からYMCA主事研修を受ける為に様々なスタッフが呼び集められ、それまで会った事のない人間が一つのコテージで研修を受け、同じ釜の飯を食べる。神学、ジェンダーの平等、グローバルイゼーション、貧困、これからのYMCA運動の有り様などを学生時代に戻って夜遅くまで話し合った。

参加者の年齢は20代から50代まで様々、YMCAの理念の下に働いているもの同士ではあっても、各々が置かれている社会の状況は全く異なる。話しあう社会課題も単語としては同一であるが、各々のリアリティーは大きく異なる。発展途上国ではジェンダーの平等とは「女性の生存権」を意味し、貧困は日常の中の

「階級差別、児童労働搾取」に結びつく。

1 週間が過ぎると日常は生活になってくる。最初は遠慮気味に手探りでお互いを探っていた研修生も、時間と共に各々の生活習慣、人間性が露わになってくる。ある時、年配のインドの男性スタッフに向けて、全ての女性スタッフの日常の不満が爆発した事があった。「貴方は食膳など日常生活の役割分担を何もしない。楽しそうに皆と長話しているだけでしんどい事はパングラディッシュのスタッフに押し付けている。私たち女性がいろいろな準備をしている事が当たり前と思っているのではないか？貴方はスルタンか？」

彼はコテージの鍵をかけられ閉め出されてしまった。男たちは確かに彼は余り働かないがそれほどの女性差別者でもないし良いやつだと思っていたのでびっくりしてしまった。何人かの男が彼と女性たちが話をする機会を作り、その場はおさまった。彼は 50 歳を目の前にして初めてこの研修で“香港で意味するところのジェンダーの平等”を悟った。「インドの日常では決して気がつかない」その後の彼の働きの変化は皆さんが想像されるところである。

多様な言語、文化背景をもつ人の中で、英語だけを媒介にしたコミュニケーションはしんどい。しかし同時に多様な人の口から出る多様な言葉から多くのものを得た。文化も性格も違う人間が 30 日共に過ごただけで友になれる現実に驚いた。

香港のビクトリア公園は毎日曜日、何千人もの小柄な東南アジア系の 10 代の女性たちで埋め尽くされる。フィリピンからの出稼ぎ労働者である。彼女たちは住込みメイドとして香港では安い給料で 1 日中働き、日曜日だけは郵便局で大きな仕送り荷物を家族に送った後、同郷の者同士、公園で一日おしゃべりをして過す。余りの人数の多さに地下鉄の駅から公園まで私はまっすぐに歩けない。初めてこの光景を目のあたりにした時はただただ驚いた。私は香港で知り合った人に問いかけた。「これはグローバリゼーションにおける国家間の不平等と搾取を表す光景じゃないのか？」香港人の男ははっきりと否定する。「いや、彼女たちは国でもらえる給料よりずっと良い額を貰っている。全く不平等なんかじゃない。」

後日、彼の家でのパーティーに招かれた。ドレスアップした彼と彼の妻は皆の接待に大童である。ふとキッチンの扉の向こう側を見ると、そこにはその家の子どもを背負いながら、その日の料理を汗をかいて作るフィリピン人の若いメイドの姿があった。私と友人は目を合わせて黙ってしまった。

その日の香港の風は海からの風で少し湿っていた。

【Y M C A ニュース】

クリスマスチャリティーロビーコンサート

日時：12月4日(火) 18:30 ~ 場所：大阪 Y M C A 会館 1F ロビー

内容：BlueGrass バンド [Backwoods Mountaineers] コンサート

【心のケアを考える】

東日本大震災で被災された方、また、悩みや苦しみの中にいる人に「そっと寄り添う」ことで支援するための「こころのケアを考える」講習会を開催します。「寄り添うこと」を実践するための考え方や行動スキルを身につける講習会です。参加費無料でどなたでも参加できますので、興味のある方はぜひご参加ください。

日時：12月8日(土) 午後1時30分~5時30分 場所：大阪 Y M C A 9階902号室

講師：宗方比佐子さん(金城学院・人間科学部・多元心理学科教授)

対象：一般(ワイズ、Y教職員、会員、ボランティア含む)

参加：無料

内容：1. 被災地での支援活動報告 日本 Y M C A 同盟作成 DVD 視聴

2. 宮古ボランティアセンター報告 大阪 Y M C A 木田泰之

3. 講習会

主催：ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 メネット事業

協力：大阪Y M C A

申込・問い合わせ

ワイズメンズクラブ中西部連絡スタッフ 内田弘志 uchida-hiroshi@osakaymca.or.jp

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6 TEL(06)6441-0894 FAX(06)6445-0297

第236回 大阪Y M C A 早天祈祷会

Y M C A を愛する人々によって共に祈る時(第3金曜日)が持たれています。Y M C A の様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

時 12月21日(金) 7:30~8:30

奨励 井上 隆晶 牧師(日本キリスト教団都島教会)

場所 大阪Y M C A 会館 10階 チャペル

問合せ 大阪Y M C A 本部事務局 総務 TEL 06(6441)0894 E-mail info@osakaymca.or.jp

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

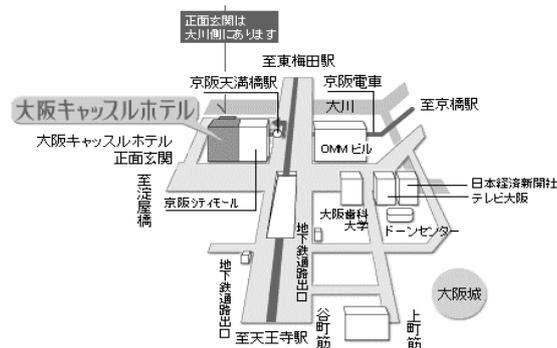
1. 「こころのケアを考える」講習会・・・12月8日(土)13時30分~17時30分(受付、開場13時)
大阪Y M C A 会館 9F 902号室
 2. 大阪クラブ新年会・・・2013年1月15日(火)18:30~21:00 於：徐園
 3. 中西部合同新年会・・・2013年1月19日(土)11:30~14:30 於：KKR ホテル大阪
 4. 東北大震災復興プロジェクト・・・2013年2月23日(土) 於：いきいきエイジングセンター
- 参加希望者は、牟 大盛書紀宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【大阪キャッスルホテルの案内】



大阪キャッスルホテル〔電話 06-6942-2401〕の地図です。

出欠の連絡は、牟書記まで、電話あるいはFAX(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)で必ずお願いします。メン1人について、ゲスト1名以上お誘いください。ゲスト、ビジターの参加者数のご連絡もお願いします。食事の注文人数を確定する必要がありますので、ご協力をお願いします。

オークションを行いますので、提供品をご持参ください。

【編集後記】

ブリテンに積極的に執筆いただき、感謝しています。メンバーは、少なくともブリテンに年1回は執筆をお願いします。今年も予定通りにブリテンが発行できたことが何よりの喜びです。(編集委員：松原伸幸)